

試行調査(アンケート記入)への協力の同意書

日本福祉大学 野中 猛 殿

東北福祉大学 西尾雅明 殿

わたしは今回の試行調査の目的や内容について説明を受け、十分に理解しましたので、試行調査への参加に同意いたします。

同意年月日 _____

本人署名 _____

説明したスタッフ _____

日付 _____

資料 2

障がい者相談支援に関するアンケート

ア ン ケ ー ト (相談支援専門員用)

このアンケートでは、相談支援専門員としての業務の理解度や実行の程度についてうかがいます。次ページからの質問をよんで、現在のあなたの状況に合う数字をお答えください。もし現在のお考えにぴったりした回答や数字がないときでも、近い数字を選び、できるだけすべての質問にお答え下さい。

回答は調査の目的のみに使用され、他の目的に使用されることはありません。

アンケートのはじめと間、最後に、時間をお尋ねします。

現在時刻： _____ 時 _____ 分

I 最初に、あなた御自身のことについて、お伺いします。

1) あなたの性別を教えてください。

1. 男性 2. 女性 (当てはまる番号に○を付けて下さい)

2) 相談支援専門員を開始する以前に、相談業務の経験はありますか？

1. ある(約 年 ヶ月) 2. ない

3) 相談支援専門員としてどのくらいの期間勤務していますか？

1. ある(約 年 ヶ月) 2. ない

4) 資格はお持ちでしょうか？それはどのような資格ですか？ 当てはまる番号に○を付けて下さい。

1. ある（複数の場合は、自分の専門性として最も近いものを1つ選んでください）

2. なし

1. 社会福祉士	7. 言語聴覚士	13. 看護師
2. 介護福祉士	8. 理学療法士	14. 医師
3. 介護支援専門員	9. 作業療法士	15. 職業カウンセラー
4. 身体障害者福祉司	10. 臨床心理士	16. 栄養士
5. 知的障害者福祉司	11. 精神保健福祉士	17. ピアカウンセラー（JIL 認定）
6. 社会福祉主事	12. 保健師	18. その他（ ）

5) 勤務先は相談支援事業所でしょうか？そうでない場合は、具体的にお書きください。(複数の場合は、最も多く時間を費やす場所または所属を1つ)

1. はい 2. そうでない（具体的に ）

Ⅱ 作業指標(Work Index)

次に、ケアマネジメント（ここでは、相談支援という意味におきかえる）実践に必要な各項目が、以下の作業指標(Work Index)に整理してあります。項目毎に、ご自分の知的理解と実行程度をチェックしてみてください。なお、評価に際しては、下記の「評価基準」をご参照下さい。

《評価基準》

知的理解（どの程度理解しているか）

- 5点：すでにほぼ完全に理解しているし、人にも説明できる。
- 4点：内容は理解できたが、人に説明するには自信がない。
- 3点：内容は何とか理解できた。
- 2点：おおまかにわかったが、一部の理解が危うい。
- 1点：何のことが全くわからない。

実行程度（どの程度実行しているか）

- 5点：日常的に自分なりに実践している。
- 4点：実践しているが上手くいかない。あるいは、実践する機会がない。
- 3点：わかっているが実践していない。
- 2点：十分にわからないから実践もできない。
- 1点：何のことが全くわからない。

評価事項 1. インテーク（受理）

※ 各項目の具体的な内容については「言葉の説明・内容」を参照してください。
※ 評価基準は前ページを参照してください。

	どの程度理解していますか？					どの程度実行していますか？				
1. 利用者の発見	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 機関からの紹介	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. 家族の相談	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4. 関係作り	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5. 包括的な状況把握	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6. 受理会議の開催	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

—— 言葉の説明・内容 ——

- 1.利用者の発見 日常業務の中で発見、アウトリーチ、本人との相談、広報活動などの項目について心得ているか、もしくは実行しているか
- 2.機関からの紹介 口頭あるいは文書、直接あるいは間接、通常業務の内外、機関や職種のヒエラルキー、返書などの項目
- 3.家族の相談 家族面接、合同面接の是非、家庭訪問などの項目
- 4.関係作り 信頼関係、初回面接法、説明と同意、問題の整理とニーズの推測などの項目
- 5.包括的な状況把握 何を把握すべきか？ 生活歴、病歴、職歴、家族歴、とりまく環境などの項目
- 6.受理会議の開催 対象選定、支援方向の概略、費用対効果の視点、資料準備などの項目

評価事項 2. アセスメント（査定）

※ 各項目の具体的な内容については「言葉の説明・内容」を参照してください。

	どの程度理解していますか？					どの程度実行していますか？				
1. 利用者本人との関係作り	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 関係者からの情報収集	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. ニーズの見定め	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4. セルフケア能力と限界	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5. 家族の能力と限界	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6. インフォーマルケア能力と限界	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7. 専門的ケアの具体的状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

8. 査定会議の開催	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9. アセスメント表の作成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

—— 言葉の説明・内容 ——

- 1.利用者本人との関係作り 共同作業、場面を変え、モデルを提示し、相手を変えながら情報を得るなどの項目について心得ているか、もしくは実行しているか
- 2.関係者からの情報収集 照会、情報の質（誰がいつ何処でどのように採取したか、5W1H）などの項目
- 3.ニーズの見定め デマンドとニーズ、迷いや葛藤、モデルの提示、試行の提案などの項目
- 4.セルフケア能力と限界 できる ADL としている ADL、IADL、疾病性と障害の査定、肯定的視点などの項目
- 5.家族の能力と限界 家族歴、家族成員の個々の想い、それぞれの支援体制、意見調整などの項目
- 6.イフォーマル能力と限界 友人、職場同僚、近隣、宗教、クラブ、ボランティア、セルフヘルプ活動などの項目
- 7.専門的ケアの具体的状況 専門機関、制度、専門家、5A（適量性、適質性、利便性、受容性、利用可能性）などの項目
- 8.査定会議の開催 設定、招集、司会、役割分担、記録などの項目
- 9.アセスメント表の作成 既存の各種ツール、ストーリー構成などの項目

評価事項 3. プランニング（計画策定）

※ 各項目の具体的な内容については「言葉の説明・内容」を参照してください。

	どの程度理解していますか？					どの程度実行していますか？				
1. 長期目標と短期目標	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. ニーズの優先度判定	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. 計画会議の開催	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4. パッケージプラン策定	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5. 手段表・役割分担表	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6. 案の提示と合意	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

—— 言葉の説明・内容 ——

- 1.長期目標と短期目標 生活目標の設定、夢の把握、現実化する手順などの項目
- 2.ニーズの優先度判定 当面急ぐニーズ領域の選択などの項目
- 3.計画会議の開催 招集、司会、運営、記録などの項目
- 4.パッケージプラン策定 複数の小目標を設定し、それぞれを手順化するという項目

- 5.手順表・役割分担表
- 最後に表化して各自に配布するという項目
- 6.案の提示と合意
- 本人・家族・関係者との合意、修正合意などの項目

評価事項 4. インターベンション（介入）

※ 各項目の具体的な内容については「言葉の説明・内容」を参照してください。

	どの程度理解していますか？					どの程度実行していますか？				
1. 利用者への直接介入	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 環境への間接介入	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. 仲介（ブローカリング）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4. 連結（リンケージ）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5. 権利擁護（アドボカシー）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6. 調整（コーディネーション）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7. 教育・研修	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8. ネットワーク形成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9. 資源の開発	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

言葉の説明・内容

- 1.利用者への直接介入
- 能力に応じて徐々に自立性を高める、共同作業などの項目
- 2.環境への間接介入
- 資源のゲートキーパー、資源の配分と開発などの項目
- 3.仲介（ブローカリング）
- ニーズを満足する資源を見定める、専門職の情報源などの項目
- 4.連結（リンケージ）
- サービス提供資源と結びつける、説明や紹介、同伴などの項目
- 5.権利擁護（アドボカシー）
- 資源にサービスを提供させるための工夫などの項目
- 6.調整（コーディネーション）
- 親睦、合同研修、定例勉強会、共通記録様式、管理者の会議などの項目
- 7.教育・研修
- 助言、解説、資料配付、情報提供などの項目
- 8.ネットワーク形成
- カンファレンス、サービス調整会議、専門職の協会、学会や研究会などの項目
- 9.資源の開発
- 必要な資源や機能を発見、機関への介入、組織への介入、行政への介入などの項目

評価事項5. モニタリング（追跡）

※ 各項目の具体的な内容については「言葉の説明・内容」を参照してください。

	どの程度理解していますか？					どの程度実行していますか？				
1. 見守り体制作り	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 環境の見守り	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. 計画の見直し	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4. 日常的な連携協力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5. モニタリングの方法	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

—— 言葉の説明・内容 ——

- 1.見守り体制作り 見守りの役割分担、連絡ルート、危機介入の想定、緊急会議などの項目
- 2.環境の見守り 資源への介入、一貫性・継続性、開発・教育・情報提供などの項目
- 3.計画の見直し 現場の情報収集、プランの調整・修正、期限の設定、定例会議などの項目
- 4.日常的な連携協力 情報交換、情緒的交流、役割調整などの項目
- 5.モニタリングの方法 [利用者本人・家族・専門家]×[定量・定性]=計6種という項目

評価事項6. エバリュエーション（評価）

※ 各項目の具体的な内容については「言葉の説明・内容」を参照してください。

	どの程度理解していますか？					どの程度実行していますか？				
1. 計画実行の評価	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 目標達成度の評価	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. 生活変化の評価	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4. 利用者・家族の満足度評価	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5. 地域資源の変化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6. 評価会議の開催	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7. 各種評価尺度	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8. 費用対効果の考え方	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

—— 言葉の説明・内容 ——

- 1.計画実行度の評価

計画は予定通り実行されたか？という項目
- 2.目標達成度の評価

当初の目的は達成されたか？という項目
- 3.生活変化の評価

利用者の生活は変化したか？という項目
- 4.利用者・家族の満足度評価

支援活動に利用者とその家族は満足したか？という項目
- 5.地域資源の変化

この活動の前後で地域資源は変化したか？という項目
- 6.評価会議の開催

支援期間終了の直前にあらかじめ設定しておくという項目
- 7.各種評価尺度

症状評価、社会機能評価、QOL 評価、家族評価などの項目
- 8.費用対効果の考え方

効率と効用、費用とは何か？などの項目

評価事項 7. ターミネーション 〈終結〉

※ 各項目の具体的な内容については「言葉の説明・内容」を参照してください。

	どの程度理解していますか？					どの程度実行していますか？				
1. 新たなニーズの発見	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 継続支援機関への連結	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. アフターケア体制	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

—— 言葉の説明・内容 ——

- 1.新たなニーズの発見

新たなケアマネジメントサイクル、再査定と再契約などの項目
- 2.継続支援機関への連結

情報の要約、フェイドアウトなどの項目
- 3.アフターケア体制

連絡先・再開可能性の説明、危機介入の手順などの項目

評価事項 8. 関連技術

※ 各項目の具体的な内容については「言葉の説明・内容」を参照してください。

	どの程度理解していますか？					どの程度実行していますか？				
1. 記録方法	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. チームワーク	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. カンファレンス	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4. スーパービジョン	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

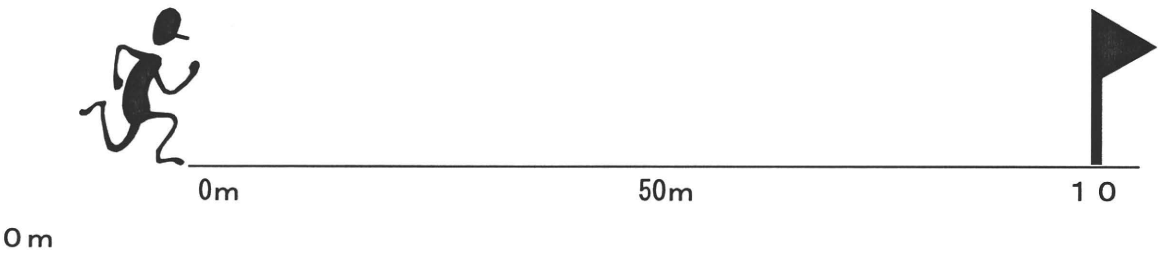
5. ストレス対処法	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

—— 言葉の説明・内容 ——

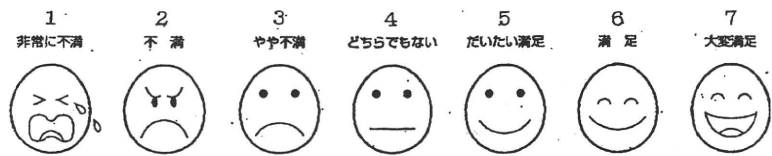
- 1.記録方法
- 2.チームワーク
- 3.カンファレンス
- 4.スーパービジョン
- 5.ストレス対処法
- 一次記録（カルテ、SOAP など）、二次記録（専門職のまとめ）、三次記録などの項目
- 各職種・各機関の能力と限界を知る、推論する、討論する、連携方法などの項目
- 計画、設定、運営、司会、板書、記録、定例化などの項目
- 同職種もしくは異職種、定期的もしくは不定期、職場内外、メディア利用、研究会などの項目
- 体調管理、対人距離、問題解決法、ストレス発散などの項目

現在時刻： _____ 時 _____ 分

Ⅲ. あなたは相談支援専門員として、どのレベルまで到達していますか？最終目標が100mの地点だと仮定して、現在いると思われる場所に、▼印をつけて下さい。



Ⅳ. あなたは、相談支援専門員として、現在の自分にどの程度満足していますか？（○で囲んでください）



御協力ありがとうございました。質問は以上で終わりです。

現在時刻： _____ 時 _____ 分

調査およびアンケートに関するご意見

質問の量について

回答にかかった時間について

質問の内容について（具体的にお書き下さい）

提出期限について

障害者ご本人からの意見や感想などで気づいたこと

調査全体について

その他

表 3

平成 22 年度厚生労働科学研究費

障がい者相談支援に関する アンケート

試行調査実施へのご協力をお願い

同意書

アンケート用紙

(事業所代表者用)

『障害者の相談支援にかかる人材養成に関する研究』

試行調査実施へのご協力のおねがい

障害保健福祉分野における抜本的改革を背景に、障害者本人を中心にした個別の支援を、より効果的に進めるための基盤づくりが検討されています。その一貫として、相談支援専門員の人材育成や関連する評価方法の開発が課題として挙げられています。

そこで私どもは、現在、相談支援にかかわっている方たちの日頃の業務についてどのようなことがうまくいっているのか、課題は何か、そのための改善策を明らかにするために平成22年度の厚生労働科学研究において、相談支援専門員の方々を対象に、アンケート調査を実施することになりました。その際に、相談支援専門員の方々の他者評価として、事業所代表の方に、当該専門員の方についてのアンケートをお願いしたいと思います。

つきましては、今年度、みなさまにご協力いただき、試行調査を実施したいと考えております。お忙しいところ大変恐れ入りますが、是非ともご協力下さいますよう、よろしくお願いいたします（専門員の方々には、調査に関する説明時に他者評価について了解を得ています）。

《試行調査について》

試行調査に参加していただく方

- ・ 事業所代表者あるいはそれに相当する方々

アンケートの内容（かかわっている専門員の方一人ひとりについて以下のことをお聞きします）

- ・ 相談支援専門員が現在行っている業務に関する質問など
（アセスメントやケアプラン作成などに対する理解と実施について）

所要時間は、相談支援専門員の方一名につき、30分程度です。

《プライバシーの保護について》

試行調査で得られた情報については、プライバシーの保護に十分に配慮して大切に保管し、研究終了後は破棄致します。あなたの回答は、この研究に関わる者だけが触れ、あなたのプライバシーが外部に漏れることはありません。また、調査によって得られた情報は研究以外の目的で使用されることはありません。

《研究成果の公表について》

研究の成果などは報告書や論文などで公表することがありますが、その場合も、あなたの個人的な情報を公開することはありません。

《研究への参加・不参加と不利益について》

この試行調査は、あなたの同意を得たうえで行われます。アンケート用紙への記入は強制ではありません。また、途中で参加を取り消すこともできます。参加しなくても、また同意を取り消しても、相談支援業務を継続していくうえで、不利益を被ることは決してありません。しかし、大切な調査なので、可能な限りご協力ください。

調査に協力いただいた場合は、2000円のクオカードを差し上げています。

以上の内容について理解したうえで、同意をいただけるようでしたら、下記の同意書にご記入のうえ、試行調査にご協力ください。

『障害者の相談支援にかかる人材養成に関する研究』

主任研究者 野中 猛（日本福祉大学）

分担研究者 西尾 雅明（東北福祉大学）

ご質問や、わからないことがありましたら、下記までお問い合わせください。

れんらくさき

連絡先：東北福祉大学 総合福祉学部 西尾研究室

TEL/FAX :022-301-1120

試行調査(アンケート記入)への協力の同意書

日本福祉大学 野中 猛 殿

東北福祉大学 西尾雅明 殿

わたしは今回の試行調査の目的や内容について説明を受け、十分に理解しましたので、試行調査への参加に同意いたします。

同意年月日 _____

本人署名 _____

説明したスタッフ _____

日付 _____

表 4

障がい者相談支援に関するアンケート

ア ン ケ ー ト (事業所代表者用)

このアンケートでは、相談支援専門員の業務の理解度や実行の程度についてうかがいます。次ページからの質問をよんで、現在の専門員の状況に合う数字をお答えください。もし現在のお考えにぴったりした回答や数字がないときでも、近い数字を選び、できるだけすべての質問にお答え下さい。

回答は調査の目的のみに使用され、他の目的に使用されることはありません。

アンケートのはじめと間、最後に、時間をお尋ねします。

現在時刻： _____ 時 _____ 分

I 作業指標(Work Index)

次に、ケアマネジメント（ここでは、相談支援という意味におきかえる）実践に必要な各項目が、以下の作業指標(Work Index)に整理してあります。項目毎に、該当する相談支援専門員の知的理解と実行程度をチェックしてみてください。なお、評価に際しては、下記の「評価基準」をご参照下さい。

《評価基準》

知的理解（どの程度理解しているか）

- 5点：すでにほぼ完全に理解しているし、人にも説明できる。
- 4点：内容は理解できたが、人に説明するには自信がない。
- 3点：内容は何とか理解できた。
- 2点：おおまかにわかったが、一部の理解が危うい。
- 1点：何のことか全くわからない。

実行程度（どの程度実行しているか）

- 5点：日常的に自分なりに実践している。
- 4点：実践しているが上手いかない。あるいは、実践する機会がない。
- 3点：わかっているが実践していない。
- 2点：十分にわからないから実践もできない。
- 1点：何のことか全くわからない。

評価事項1. インテーク（受理）

※ 各項目の具体的な内容については「言葉の説明・内容」を参照してください。

※ 評価基準は前ページを参照してください。

	どの程度理解していますか？					どの程度実行していますか？				
1. 利用者の発見	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 機関からの紹介	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. 家族の相談	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4. 関係作り	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5. 包括的な状況把握	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6. 受理事議の開催	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

—— 言葉の説明・内容 ——

- 1.利用者の発見 日常業務の中で発見、アウトリーチ、本人との相談、広報活動などの項目について心得ているか、もしくは実行しているか
- 2.機関からの紹介 口頭あるいは文書、直接あるいは間接、通常業務の内外、機関や職種のヒエラルキー、返書などの項目
- 3.家族の相談 家族面接、合同面接の是非、家庭訪問などの項目
- 4.関係作り 信頼関係、初回面接法、説明と同意、問題の整理とニーズの推測などの項目
- 5.包括的な状況把握 何を把握すべきか？ 生活歴、病歴、職歴、家族歴、とりまく環境などの項目
- 6.受理事議の開催 対象選定、支援方向の概略、費用対効果の視点、資料準備などの項目

評価事項 2. アセスメント（査定）

※ 各項目の具体的な内容については「言葉の説明・内容」を参照してください。

	どの程度理解していますか？					どの程度実行していますか？				
1. 利用者本人との関係作り	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 関係者からの情報収集	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. ニーズの見定め	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4. セルフケア能力と限界	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5. 家族の能力と限界	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6. 1人1人での能力と限界	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7. 専門的ケアの具体的状況	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8. 査定会議の開催	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9. アセスメント表の作成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

—— 言葉の説明・内容 ——

- 1.利用者本人との関係作り 共同作業、場面を変え、モデルを提示し、相手を変えながら情報を得るなどの項目について心得ているか、もしくは実行しているか
- 2.関係者からの情報収集 照会、情報の質（誰がいつ何処でどのように採取したか、5W1H）などの項目
- 3.ニーズの見定め デマンドとニーズ、迷いや葛藤、モデルの提示、試行の提案などの項目
- 4.セルフケア能力と限界 できるADLとしているADL、IADL、疾病性と障害の査定、肯定的視点などの項目
- 5.家族の能力と限界 家族歴、家族成員の個々の想い、それぞれの支援体制、意見調整などの項目
- 6.インフォーマルケア能力と限界 友人、職場同僚、近隣、宗教、クラブ、ボランティア、セルフヘルプ活動などの項目
- 7.専門的ケアの具体的状況 専門機関、制度、専門家、5A（適量性、適質性、利便性、受容性、利用可能性）などの項目
- 8.査定会議の開催 設定、招集、司会、役割分担、記録などの項目
- 9.アセスメント表の作成 既存の各種ツール、ストーリー構成などの項目

評価事項3. プランニング（計画策定）

※ 各項目の具体的な内容については「言葉の説明・内容」を参照してください。

	どの程度理解していますか？					どの程度実行していますか？				
1. 長期目標と短期目標	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. ニーズの優先度判定	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. 計画会議の開催	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4. パッケージプラン策定	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5. 手段表・役割分担表	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6. 案の提示と合意	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

—— 言葉の説明・内容 ——

- 1.長期目標と短期目標 生活目標の設定、夢の把握、現実化する手順などの項目
- 2.ニーズの優先度判定 当面急ぐニーズ領域の選択などの項目
- 3.計画会議の開催 招集、司会、運営、記録などの項目
- 4.パッケージプラン策定 複数の小目標を設定し、それぞれを手順化するという項目
- 5.手順表・役割分担表 最後に表化して各自に配布するという項目
- 6.案の提示と合意 本人・家族・関係者との合意、修正合意などの項目

評価事項4. インターベンション（介入）

※ 各項目の具体的な内容については「言葉の説明・内容」を参照してください。

	どの程度理解していますか？					どの程度実行していますか？				
1. 利用者への直接介入	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 環境への間接介入	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. 仲介（ブローカリング）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4. 連結（リンケージ）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5. 権利擁護（アドボカシー）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6. 調整（コーディネーション）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7. 教育・研修	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8. ネットワーク形成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9. 資源の開発	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

—— 言葉の説明・内容 ——

- 1.利用者への直接介入 能力に応じて徐々に自立性を高める、共同作業などの項目
- 2.環境への間接介入 資源のゲートキーパー、資源の配分と開発などの項目
- 3.仲介（ブローカリング） ニーズを満足する資源を見定める、専門職の情報源などの項目
- 4.連結（リンケージ） サービス提供資源と結びつける、説明や紹介、同伴などの項目
- 5.権利擁護（アドボカシー） 資源にサービスを提供させるための工夫などの項目
- 6.調整（コーディネーション） 親睦、合同研修、定例勉強会、共通記録様式、管理者の会議などの項目
- 7.教育・研修 助言、解説、資料配付、情報提供などの項目
- 8.ネットワーク形成 カンファレンス、サービス調整会議、専門職の協会、学会や研究会などの項目
- 9.資源の開発 必要な資源や機能を発見、機関への介入、組織への介入、行政への介入などの項目